

第35回貨物鉄産労中央委員会開催



大杉委員長



JR 連合鎗光部長

2月5日、第35回貨物鉄産労中央委員会が博多市内で開催され、2022春闘を含め今後の活動方針を満場一致で可決しました。

委員会を代表して挨拶に立った大杉委員長は、安全・2022春闘・コロナの3点を主に述べられ、「昨年末に山陽本線において発生した脱線事故はJR貨物存続を左右する非常に危険な事故であり、多くの方々にご迷惑をおかけした。今一度、安全最優先の取り組みをお願いしたい。2022春闘においては、活動方針（案）で提起するが、1000円のベア要求で取り組んでいく。コロナにおいては、制限ある生活を余儀なくされているが、感染防止に努めて頂きたい」力強く発せられ、来賓のJR連合鎗光部長からは、「JRグループは非常に厳しい状況ではあるが、今春闘においてはベア獲得を強く求め生活改善に努めていきたい」と、春闘を主に述べられました。

執行部より活動方針（案）を提起し、質疑では「山陽本線脱線事故・2022春闘要求・人事制度における評価・コロナ対応・昇職試験結果・組織課題」等、多くの発言があり、集約答弁に立った辻村書記長は「昨年、組織拡大があり改めて感謝申し上げる。引き続き鋭意な取り組みをお願いしたい。昨年末から輸送障害が多く発生し、1月の輸送動向はかなり厳しいものになっている。年度末に向けどこまで挽回するかによるが、決算では黒字が出るのか危惧している。会社も厳しいが、私たちの生活もかなり厳しく、2022春闘では、「人への投資」を強く求めていく」と訴えました。

**JR社員のみならず、
JRグループ会社の社員、
退職後も利用できる、開かれた共済。**

病気、交通事故、火災、地震・・・など、
偶発の事故に備えて仲間（組合員）が掛金を出し合い、
いざという時に助け合うのが共済です。
集められた掛金は、共済金等の支払と事業運営に充てられ、
剰余となる部分は、割戻金として組合員の皆さまに還元しています。



みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

